



名張市立桔梗が丘中学校 学校だより 令和8年1月号

新年あけましておめでとうございます。

保護者の皆様、地域の皆様、また関係の皆様、あけましておめでとうございます。日頃より学校教育に対してご理解とご協力・ご支援をいただいていることを深く感謝申し上げますとともに、本年も引き続きよろしくお願いいたします。

さて、私自身にとって9年ぶりの学校現場は、生徒や教職員の姿や表情が間近にあって、とても楽しく充実した毎日を過ごせています。誰一人取り残さない、すべての生徒・教職員が生き生きと輝ける桔梗が丘中学校にするために、2025年流行語に選ばれた高市首相の言葉のように、まずは「働いて働いて働いて働いて働いてまいります」を心がけることが私自身の目標です。当然のことながら一人ではできませんので、保護者や地域の方々と連携・協働しながら、教職員が一丸となって生徒に寄り添いながら『チーム桔梗が丘中』で、実現できたらと考えています。

3学期は、生徒にとっては次のステージへの最終章で、やがて『チーム桔梗が丘中』のメンバーチェンジ（3年生卒業・新1年生入学、1・2年生クラス替え）の時期がやってきます。一日一日を大切に、生徒一人ひとりの学びや成長が見られる3学期、一年であってほしいと心から願っています。

学校長 瀧永 伸



名張市ヒューマンライツに参加しました

11月27日（木）の午後、名張市教育センターで市内5中学校の代表約30人（本校からは2年生6名）が、一堂に会して名張市ヒューマンライツ（中学生が人権について考える集い）が開催されました。『十人十色～個性を大事にして、人とのつながりを持とう』をテーマに、3つのグループに分かれて分散会を行いました。分散会では「SNSなどのネットトラブル」「部落問題について」を題材に様々な意見の交流を行い、その後の全体会で還流を行いました。ほとんどの人が初めて出会うメンバーの中での交流でしたが、緊張しながらも自分の意見をしっかりと伝えることができました。3学期の始業式で、全校生徒に還流を行いました。

